

令和5年度 家庭科 授業改善推進プラン

大田区立北糀谷小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・昨年度は以前に比べて調理実習も感染症流行前のように行うことができ、調理の仕方やポイントなどについて実践を通して学ぶことができた。
- ・学習したことを家庭で実践するためのワークシートを用意して活動したり、その実践を友達同士で話し合ったりすることによって、より効果的で効率的な家庭での自分の仕事の進め方を覚えることができた。

(2) 課題

- ・創意工夫した事柄について必要な準備をしたり手順を考えたりすることは難しい児童もみられる。
- ・裁縫については、技能面での差が大きく、作業の進み具合に違いがある。
- ・一昨年度に比べて調理の機会は増えたものの、その学んだことを家庭で実践する機会が少なく、調理に関する基本的な知識・技能が身に付いていない児童が多い。
- ・知識として身に付けたことを、家庭のスタイルが多様化している状況の中、実生活に結びつけることが難しい。

2 授業改善のポイント（観点別）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none">・調理の課題を設定し、調理機会を増やし、技能を身に付けさせる。・学んだ知識が実生活のどのような場面でみられるのかについて理解を深める場を設ける。・調理する上で大切ないくつかのポイントを具体的に提示し、スモールステップで授業を進めることで、基本的技能を確実に身に付けさせる。	<ul style="list-style-type: none">・自分の生活をみつめ、振り返る活動を多く取り入れる。・学習したことを生かして、家庭での生活に取り入れる工夫を考え、生活がよりよくなったという実感をもつことができるような学習の場を設ける。	<ul style="list-style-type: none">・家事の必要性や自分の役割を家庭でも自ら率先して実践できるように、家庭にも協力を求める。・身近な物の選び方や買い方、環境に配慮した物の活用などの資料を活用しながら、より実践的に学習する場を設ける。